

平成23年度

学校法人昌賢学園

事業報告書

学校法人昌賢学園

群馬医療福祉大学大学院

群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学短期大学部

群馬社会福祉専門学校

群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校

群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

6. 教職員の状況

(平成23年5月1日)

部 門	人員数
大学教員（社会福祉学部）	42名
兼任講師	28名
大学教員（看護学部）	21名
兼任講師	26名
短期大学部教員	12名
兼任講師	13名
専門学校教員	13名
兼任講師	24名
リハビリ専門学校教員	13名
兼任講師	29名
幼稚園教員	8名
事務職員	34名

7. 土地及び建物の状況

① 土地の状況

(単位:㎡)

	群馬医療 福祉大学	短期大学部	群馬社会福 祉専門学校	附属鈴蘭 幼稚園	合 計
校 地	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	39,845.84
合 計	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	39,845.84

② 建物の状況

(単位:㎡)

	群馬社会 福祉大学	短期大学部	群馬社会福 祉専門学校	附属鈴蘭 幼稚園	合 計
校 舎	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,080.47
合 計	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,080.47

③ 土地建物借用状況

(単位:㎡)

	法 人	群馬医療福 祉大学	リハビリ 専門学校	看護学部	合 計
校 地				26,222.00	26,222.00
校 舎			4,744.38	11,477.00	16,221.38
駐 車 場		4,699.28			4,699.28
合 計		4,699.28	4,744.38	37,699.00	47,142.66

2. 事業報告

企画部門報告

- ・東日本大震災 被災学生支援

東日本大震災により被災した学生への対応として、23年度学費減免措置を行った。(授業料全額免除 半額免除 1/4 免除) また被災した受験生へも入学金減免の経済的支援を行った。

- ・小名浜ときわ苑 震災ボランティア活動

東日本大震災により被災した福島県いわき市の介護老人保健施設小名浜ときわ苑へボランティア支援を行った。

実施期間 平成23年5月～11月

- ・東日本大震災災害復興シンポジウム

被災地の経験から学ぶべきこと、そして私たちに何ができるのかをテーマに被災地いわき市の介護老人保健施設小名浜ときわ苑、前橋市社会福祉協議会の協力を経てシンポジウムを開催いたしました。市民の方々、福祉、医療関係者の方々に伝えることで、それぞれの現場における備えを考える機会となりました。

平成24年11月19日 参加者214名

- ・論語の学堂

講師には、石川忠久先生をお招きし、「論語と漢詩」についての講演会を実施しました。講師の石川先生はNHKの番組にも出演されており、大変好評で、参加者の方々は興味深く聞いておられました。

平成24年3月13日 参加者 135名

- ・藤岡地域大学連携会議 まちづくりシンポジウム

この催しは藤岡市と本学が地域連携の一環として、これからのまちづくりについて話し合おうというもので、今回のテーマは「藤岡のまちを元気にする方法について～自分たちでできる賑わい創出や活性化を考えよう～」。コーディネーターとして本学社会福祉学部長、パネリストとして藤岡市長や市民代表に加え、本学学長、学生が参加しました。

- ・まちなかキャンパス 前橋商工会議所連携事業 17 講座開催

群馬医療福祉大学は前橋商工会議所連携事業としてまちなかキャンパスを開催し、地域の方々を対象に、長年培ってきた教育と研究を土台に、地域のニーズに応えられる大学としてその役割を果たしたいと願っています。

少子高齢社会を迎え、地域の方々の「健康」への意識が高まり、予防医学や予防介護といった知識・技術が求められています。そのようなニーズに対応するため、本学の持っている知的財産を地域へ還元することを目的とし、地域の方々が気軽に参加できるような講座を開講しています。

教務部門報告

①平成24年4月 リハビリテーション学部開設

○学部、学科等の名称 群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科（理学療法専攻・作業療法専攻）
○定員 入学定員（理学療法専攻35名・作業療法専攻25名） 総定員240名
○学校の位置 群馬県前橋市本町2-12-1
○目的 理学療法士・作業療法士を養成し、少子高齢化が進む地域社会に送り出すため、優れた学識と技術と倫理的判断力を身につけ、健康と福祉と地域に主体的貢献のできる、人間性豊かな医療福祉専門職者の育成を目的とする。

②新設学部等において取得可能な資格

【リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻】

- ・理学療法士国家試験受験資格

卒業要件単位に含まれる指定科目を履修して卒業すれば受験資格を得られる。

【リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻】

- ・作業療法士国家試験受験資格

卒業要件単位に含まれる指定科目を履修して卒業すれば受験資格を得られる。

③新設学部及び既設学部の定員等の状況

	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期
							学位又は称号	学位又は学科の分野	
新設学部等の概要	リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	4	35	-	140	学士 (理学療法学)	保健衛生学 関係	平成24年 4月
		リハビリテーション学科 作業療法専攻	4	25	-	100	学士 (作業療法学)	保健衛生学 関係	平成24年 4月
既設学部等の概要	社会福祉学部 (定員減)	社会福祉学科 社会福祉専攻	4	80 → 50	3年 次 50 →10	420 → 220	学士 (社会福祉学)	社会学・社会 福祉学関係	平成14年 4月

要		社会福祉学科 子ども専攻	4	50 → 40	—	200 → 160	学士 (社会福祉学)	社会学・社会 福祉学関係	平成 14 年 4月
	看護学部	看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	保健衛生学 関係	平成22年 4月

入試広報部門報告

- 1.高校訪問
- 2.進学ガイダンス参加
- 3.高等学校教諭対象説明会
- 4.オープンキャンパス開催
- 5.ホームページ
- 6.WEB 媒体
- 7.進路情報誌の掲載
- 8.出前授業
- 9.新聞広告(主に上毛新聞)
- 10.FM GUNMA

大学(社会福祉学部、看護学部)・短期大学部の募集活動では一定の志願者を確保することができたが、学部により一部定員に達しないところもあった。看護学部では大幅な志願者増、短期大学部では介護福祉士国家試験制度へ移行する学年であったことから、大幅な志願者減となった。(ただし、国家試験は制度変更により無試験が継続される)リハビリ専門学校においては、オープンキャンパスにおいて施設見学(バスツアー)を取り入れ、まずオープンキャンパスでの集客を図ることに力を注いだ。この企画が成功し、理学療法学科では定員を上回る志願者を確保することができた。今後は、作業療法学科の募集が課題となりそうである。

社会福祉専門学校は、附属幼稚園とタイアップしたオープンキャンパスを企画し、子ども分野に興味の高校生への囲い込みを図り、定員を確保することができた。

今後、リハビリ専門学校の学部昇格も視野にいれながら、地道な広報活動を展開し、志願者獲得に結びつけていきたい。

全入時代を向かえ、経営が難しくなる学校法人がますます増えるだろう。昌賢学園では学校の特色、他校にない魅力を如何に打ち出していけるかが大きな課題である。そのためにも昌賢学園の全教職員が一丸となって、様々な問題に対し企画検討し、それを実行、実現する努力をしていくことが必要であると痛感します。

オープンキャンパス参加者数

	23年度参加者数	前年度参加者数
前橋キャンパス 社会福祉学部短期大学 部	661名	665名
藤岡キャンパス 看護学部	598名	500名
リハビリ専門学校	301名	322名
社会福祉専門学校	291名	223名

入学者状況

	定員	入学者数	前年度入学者数
大学 社会福祉専 攻	80	76	76
大学 子ども専攻	50	52	54
大学 看護学科	80	96	96
短大 介護福祉学 科	80	66	90
リハビリ専門学校 理学療法学科	40	41	44
リハビリ専門学校 作業療法学科	40	24	32
専門学校 福祉保育学科	50	51	33
合計	420名	406名	430名

就職部門報告

◇学生一人ひとりの希望する先への就職ができるように、『就職指導』を授業として開講し、きめ細かな就職支援・求人資料を豊富にそろえ、実践的なアドバイスも交えるとともに現場での即戦力になるためのサポートを実施しています。

インターンシップとして『ボランティア活動』を取り入れ福祉施設等でのボランティア活動に積極的に取り組むことを進めることで進路・就職に対する動機付け、就職後のミスマッチを防いでいます。

また、学生のキャリア向上及び就職指導の一環として行う支援講座・研修は、変化する社会情勢の中でも十分な就職活動が行えるようバックアップ体制を敷いており、資格取得対

策に関しては学生を支援する資格取得講座を数多く開講しています。この資格取得講座の受講者、各種資格試験の合格者は年を重ねる毎に増加しており、公務員（公立保育園を含む）に現役生が合格するとともに、教員採用試験の合格者も数多く出ています。

◇社会福祉学部、短期大学部共に就職状況は、就職希望者に対し 100%となり、短期大学部においてはここ数年 100%が続くという高い数字となっています。

◇就職場所は老人関係施設 47%、障がい者(知的・身体・精神)関連施設 20%、医療ソーシャルワーカー・精神保健福祉士等の病院 4%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団) 3%、保育園・幼稚園に 12%等々といった方面に就職しており、本年度は公務員が 3%、一般企業 5%の就職先となっています。

3. 財務の概要

平成 23 年度施設設備の整備状況

施設整備の主な整備状況

大学	教育研究備品	378,000円
	その他の機器備品	672,000円
	図書	5,565,479円
短期大学	図書	1,207,321円
専門学校	建物	1,260,000円
	教育研究備品	1,290,155円
	その他の機器備品	181,000円
	図書	1,890,192円
	ソフトウェア	1,446,900円
幼稚園	教育研究備品	1,350,000円
	図書	21,400円

平成 23 年度財産目録・貸借対照表・資金収支計算書・消費収支計算書・監事並びに公認会計士の監査報告書・資金収支の状況（経年推移）・消費収支の状況（経年推移）・貸借対照表（経年推移）・財務比率（経年推移）は別掲の通りである。

平成 23 年度は医療福祉大学看護学部において開設年度までに大学の施設設備整備状況は全面的に見直され完備されたので今年度も新たに大きな施設設備関係の支出は少額で済み資金の充実に回すことができた。なお、看護学部は 2 年目ではあるが入学定員を的確に確保することができ、今後も定員確保の見込みが推測される。

また、主たる経常収入としての学生生徒等納付金比率はリハビリ専門学校 4 年目、看護学部が 2 年目となるが前年度に引き続き数年安定的に推移している。経常経費依存率も数年平均的にほぼ 100%で推移しており、学生生徒に対する教育的還元は行き届いていると思われる。学部増設等が続いたことから消費収支超過額は数年続いているが看護学部完成年度の前年度からは消費収入超過額に確実に改善される見通しである。資金的にも外部借入金等が極少額なので負債償還には窮することなく計画的な財政運営を実践できる傾向

である。次年度も財務状況は良好に維持し、大学法人としての教育研究目的を達成するために必要な財政基盤をしっかりと有し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。